

奄美大島5市町村長共同メッセージ（緊急事態宣言の全国解除にあたって）

本年1月7日に発令された緊急事態宣言について、3月21日で解除されることが発表されました。これまでの間、外出自粛や営業時間の時短要請等の取組みなど、感染拡大防止に取り組まれてきた全ての皆様に対して、深く敬意を表します。

しかしながら、今回の緊急事態宣言の解除が、即、新型コロナが収束に向かっていることを表すものではありません。

特に、医療体制が十分とはいえない離島である奄美大島に住む私たちにとっては、進学や就職、職場の異動などにより、本土との人の往来が活発化するこれからの時期は、改めて感染防止への注意が必要です。

奄美大島におきましては、住民の皆様お一人おひとりの感染防止対策の実践とご協力により、この2か月間、新たな感染確認はありませんが、新型コロナに対しては、まだまだ予断を許すものではございません。

住民の皆様におかれましては、引き続き、マスク着用や手洗いの励行などの感染防止対策の徹底に努めていただきますようお願いいたします。

また、旅立ちと出会いの季節であり、会食の機会が増える時期でもございますので、引き続き、感染拡大防止のための3密回避などについて心がけいただくようお願いいたします。

令和3年3月19日

奄美市長	朝山	毅
大和村長	伊集院	幼
宇検村長	元山	公知
瀬戸内町長	鎌田	愛人
龍郷町長	竹田	泰典